

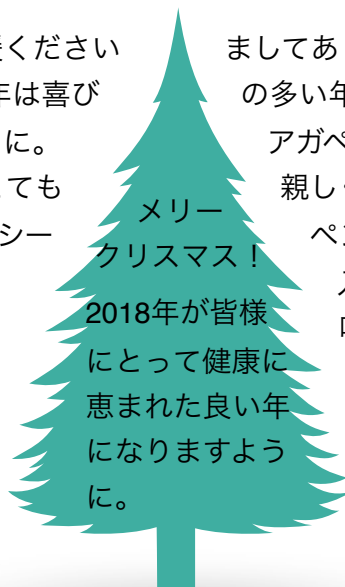
アガペワールド



London
Keiko C Holmes
35 Leyburn Gardens
CR0 5NL London
E: agape.kingdom@gmail.com
Tel: +44(0)20 8686-4263
New : Agapeworldreconciliation.org

日本
小菅啓子
横浜市南区中村町5-308-12
E: victory8068@gmail.com
Tel: 090-1266-3390
www.agapeworld.org.jp

いつもアガペワールドをご支援ください
くなりました。皆さんの2017年は喜び
祝福されたものとなりますように。
悲しみの年でもありました。とても
11月に亡くなりました。チェルシー
ていた方です。葬儀は聖歌隊も
ニュースはアガペワールドに興
が aumentando ことです。今年
息子さんや娘さんから連絡が
ています。先日ロンドンで働
会いました。来年で「和解の
多くの方に参加していただき



ましてありがとうございます。今年も残り少な
の多い年だったでしょうか。残された一月が、
アガペワールドにとっては喜びの年でもあり、
親しくしていた100歳の元捕虜の友達が、
ペンション、赤い退役軍人の制服を着
入り、素晴らしい式典でした。嬉しい
味をもってください若い世代の人たち
は全く知らなかったイルカボーイズの
あり、「和解の旅」に興味をしめし
ているイルカボーズの息子さんに
旅が最後になる可能性があるので、
いですね。

ちなみに来年の「和解の旅」は9月5日



から19日までです。今年は長崎の香焼で催される
元捕虜の方々の追悼式(9月8日)に参加するた
め早めの出発となります。羽田から福岡(捕虜収
容所跡訪問)、長崎、京都、熊野(入鹿)そして
東京(横浜?)が最後です。私は皆さんが帰られ
た後で少し残ります。昨日ケン・ペットおじいちゃんに安否確認の電話をしたら、来年の9月の
「和解の旅」に参加すると言っていました!確か
95歳!

数日前まではロンドンの紅葉が綺麗でしたが、今
は雨と強風でほとんどの葉が散ってしまいました。

私の畑の肥料にするため、枯葉を集めていましたら、
狐が近くに来てな、かなか去って行きません。遊んで欲しくて私の注意を引くために行ったり来
たり、体をしげみに隠して尻尾だけ出して見たり、可愛いんだけど私は狐が嫌いで(怖い)、逃
げて帰りました。この辺りは緑が多く、また狐に餌をあげる人がいたりして人懐こいのです。日
中も走り回ったりでちょっと困ります。リスたちも頻りに我が家の庭に来て無花果の実を食べて
います。写真は我が家の応接間から。

11月20日にNHKのテレビ局の方々が我が家にいらっしゃり私もインタビューを受けました。『アナザーストーリーズ』という番組で天皇陛下についてのことなのですが、元捕虜関係者や元捕虜研究者の方も撮影され、ジャック・カプランのご家族の紹介も頼まれました。ご家族が協力してくれたので喜んでいました。12月19日に放映されるとのことでした。ぜひご覧ください。

新しいイルカボーイの息子さんに先日会いました。ロンドンにあるカナダの会社で働いておられ、高いビルが一番上にオフィスがあって、ロンドンが一望に見渡せる会議室でお話ししました。お父さんが帰還してから息子宛に捕虜当時のことなどを手紙の形で書き残していました。イルカのことたくさん書いてあるそうです。一応全部電子メールでいただいています。いつか翻訳してニュースレターでご紹介しましょう。

先日名古屋からよくアガペワールドに寄付してくださる妙子さんが、こちらの方と結婚している娘さんに会いに来られ、我が家にも二泊して行かれました。名古屋では私もお世話になる方です。信仰の友で、とても嬉しく夜遅くまで話し込みました。

アガペと私

三原和壱

私は「太平洋戦争」直後に生まれました。子供時代に両親から戦時中の経験についていろいろ聞いていたので、大学時代に戦争についての何冊もの本を読みました。ただ、日本軍が設置した、軍人捕虜や民間人の収容所については、日本ではあまり記載されていません。1973年にロンドンに移ってから、英国人の対日観の悪さに初めて気がつきました。また、1990年代に東南アジアを仕

事で訪問した時に、侵略戦争の負の遺産について認識しました。

2000年頃に恵子さんの仕事についての日本の新聞記事を読みました。数年後に退職してから、恵子さんに連絡を取り事務的な仕事のお手伝いを始めました。恵子さんの出版物や和解活動のた

めに、レポートや新聞記事の翻訳をするのが私の主な仕事です。興味深くやりがいのある仕事だと思いますが、アガペの



和解活動に少しでも貢献できることを願っています。私の妻のマーガレットはイン

グランドのリンカンシャー州出身です。彼女が1970年に日本を訪問して、京都にある女子大学で教えていた時に知り合いました。私の英訳が正確で自然な英語であるかどうかをチェックしてもらっています。二人の娘がいますが、長女は私達と同居しており、次女はバルセロナに住んでいます。

オーストラリアのシドニーに住むイルカボーイの孫息子、ロッキーからの手紙を紹介します

私達は日本で短期間の素晴らしい旅をしましたが、特に熊野と入鹿では最も思い出深く楽しい一時を過ごしました。私は二人の友人と一緒に、京都、東京、また札幌へ行きましたが、その間に熊野を訪問しました。私の祖父、ジョン・クレイグ（まだ生存しているイルカ・ボーイズの一人です）が、第二次世界大戦の末期に1年3ヶ月の間、入鹿の紀州鉾山で強制労働に従事した現地を見学するのが目的でした。

祖父が戦争捕虜としてシンガポールや、タイメン鉄道の建設、また日本で過ごした経験を子供の頃によく聞きました。そして、私が、祖父が入鹿の鉾山で働いていた時と同じ年になったので、訪問するタイミングが到来した、と考えたのです。

駅へ着いた時、素晴らしい夫婦に迎えられました。周子さんと和能さんは、恵子さんが創立してイルカ・ボーイズのために過去約30年間に亘って和解の活動をしてきたアガペに参加していました。大変親切に手厚くもてなしていただいたことを決して忘れることが出来ません。

まず最初に、紀州鉾山の抗口に連れて行ってくれましたが、すぐ隣には選鉱場の跡が残っていました。祖父が1年以上に亘って毎日何回も出入りし

た抗口を見る事は、現実とは思えない経験でした。鉾山は閉鎖されているので、残念ながら坑内に入ることは出来ませんが、私にとって重要な場所に立っていたのだ、ということを知りました。

次に、大変興味深い入鹿歴史資料館に連れて行ってもらい



ました。戦争についてだけでなく、入鹿の歴史全体についての資料館ですが、この町の概略や歴史を理解することが出来て大変興味深いものでした。銅山に関する展示室では、私の祖父や他の捕虜が直面した労働条件を目の当たりにしました。いろいろな用具や採掘された鉾石、またイルカ・ボーイズが寄付した多くの所持品を見ることが出来ました。これらの所持品の写真を祖父に見せて所有者について話すと、祖父は全部の戦友を覚えていました。祖父が当時所有していた貴重品を展示して貰うために同資料館に送りたい、と希望しています。

その後、戦没者墓碑に連れて

行ってもらいました。以前に、ここでイルカ・ボーイズのために相互和解のための追悼式が行われました。この墓碑は、同銅山で強制労働に就いていた時に亡くなった16人の戦争捕虜のために建てられたのです。私達は花を捧げて追悼式をしました。このような事を自分自身で体験するという事は、信じがたいことでした。追悼の後で、記念碑の世話をしている老人会会長の更家さんから、彼がまだ子供の頃の戦時中の出来事の思い出や、72年前の祖父の生活状況や体験について伺いました。1945年に撮った現地の写真や、坑内や捕虜収容所の寝所の写真を見せてくれました。周子さんに通訳をしていただいて、約30分間、70年以上も前に祖父と299人の戦友が体験した事を夢中になって聞くことが出来ましたが、これは私にとって驚くべき出来事でした。

戦争関連の訪問は終わりましたが、まだ他にすることが一杯ありました。トロッコで入鹿の近くにある有名な温泉に行きました。残念ながら温泉には入りませんでしたが、足湯を使うことが出来ました。寒かったので身体が大変温まり、気持ちがよくなりました。更に、素晴らしい夕食をご馳走になり、周子さんと和能さんの家に一晩泊めていただきま

した。そして、日本の伝統的行事の節分を経験し、旅館に似た和風の家に泊まり、冷酒や燗酒を頂きました。

最後に、私達

の熊野と入鹿での滞在を思い出深いものにしていただき、三人を代表して皆様方

に厚くお礼申

し上げます。長田健次さんとナオコさんは追悼に参加してください、また大変お世話になり、更家さんは、私の祖父を含めた戦争捕虜の生活状況



や体験について墓碑の前で話して下さり、周子さんと和能さんは私達三人を手厚くもてなしてくださいました。皆さんに心から感謝しています。

皆さんの寛大で喜びに満ちた行為のおかげさまで、私達の熊

野と入鹿での経験が本当に豊かになりました。また、祖父を含めた多くの人々のためにあらゆることをしていただいた事に対して、恵子さんに感

謝いたします。イルカ・ボーイズのためにこのような和解促進の努力をして下さり、また、今でも健在で94歳になる祖父が1年3ヶ月の期間を過ごした地域への私達の訪問を計画し、またいろいろと援助していただき有難うございました。

私達が入鹿で過ごした時の事を決して忘れません。皆様から寛大かつ親切に尽していただいたおかげで私達が経験した事を、他の多くの人達も経験することが出来ることを希望しています。私達は「アガペ」の愛を経験したのです。オーストラリアより愛を込めて。

<会計報告>

収入		支出	
8月から の繰越	703,140	アガペ活動 費	0
9月	15,000	HP作成費用	24,000
10月	16,000	事務経費	10,982
11月	13,000	次月へ繰越	712,158
合計	747,140		747,140

<支援会から>

主の御降誕をお祝いたします。

皆様のお祈りとご支援を心より感謝致します。支援会を立ち上げてから、5年が過ぎました。その間には沢山の方々との出会いがあり、また別れもありました。主の豊かな祝福も数えきれないほどありました。来年のイギリスからの訪問は最後となるかもしれませんので、私達も出来れば参加し、豊かなお交わりの時を過ごせたらと願っております。

小堀洋志・豊代子

支援会連絡先

小堀豊代子 [メールアドレス htam-kobori@jcom.home.ne.jp](mailto:htam-kobori@jcom.home.ne.jp)

献金口座名アガペワールド支援会

ゆうちょ銀行 口座 記号10040 番号29475731

振替口座 00180-9-679184 (青色振込用紙)

三菱東京UFJ 口座店 鶴川支店233 番号0319665

いつもご支援ありがとうございます。

本郷台キリスト教会

ホームチャペル・エリム

久遠キリスト教会